

平成25年度 第1回熊本市公民館運営審議会

— 議事録 —

日 時 平成25年6月27日(木)

午前10時～正午

会 場 熊本市中央公民館

地下ホール

《出席者》

■ 運営審議員

河村 洋子	委員長
山西 裕美	職務代理者
山城 千秋	委員
上内 伸介	委員
岡嶋 滋子	委員
加藤 貴司	委員
横田 友子	委員
陣内 巧	委員
徳永 峰子	委員
濱 和子	委員
山口 温代	委員
佐々木 信文	委員
田中 瑞代	委員

以上13人

《欠席者》

浦本 和子	委員
古閑 尚重	委員

以上2人

《出席者》

■ 熊本市側

田上 企画振興局次長
弓掛 生涯学習推進課長

(公民館関係)

- ・ 中央区中央公民館 古閑館長
- ・ " 五福公民館 境 館長
- ・ " 大江公民館 古田館長
- ・ 東区 託麻公民館 田中館長
- ・ " 秋津公民館 松野館長
- ・ " 東部公民館 村上館長
- ・ 西区 西部公民館 山野館長
- ・ " 河内公民館 守田館長
- ・ " 花園公民館 米澤館長
- ・ 南区 富合公民館 江口館長
- ・ " 飽田公民館 小山館長
- ・ " 天明公民館 村田館長
- ・ " 幸田公民館 永野館長
- ・ " 南部公民館 浦田館長
- ・ " 城南公民館 松野館長
- ・ 北区 植木公民館 白石館長
- ・ " 北部公民館 松本館長
- ・ " 清水公民館 倉岡館長
- ・ " 龍田公民館 三鶴館長

(事務局)

- ・ 河津補佐 (生涯学習推進課)
- ・ 上島社会教育主事 (")
- ・ 濱田生涯学習係長 (")
- ・ 北村主任主事 (")
- ・ 坂口主事 (")

以上26人

平成25年度 第1回公民館運営審議会議事録

- 開 会
- 委嘱状交付
- 田上企画振興局次長挨拶
- 委員及び職員紹介
- 議 事

(事務局)	<p>議事6(1)「平成24年度 事業報告について」事務局から説明</p> <p>・公民館利用者数で自主講座利用者人数が22年度、23年度と順調に増加しているが、24年度に1万8千人程減少しているが、要因分析はされているか。</p> <p>・自主講座の参加数としては、全19公民館で921講座、2万弱が実数値である。1万8千人減とは、延べ数であり、昨年7月の龍田北部地区の洪水や東部の空調工事などにより公民館講座が開設できなかったことが要因として考えられる。</p> <p>・市民企画講座について実施されている公民館が6館（約3分の1）と少ない。熊本市も指定都市になり、市民に任せられるもの、任せていくべきであり、今後、どのように考えるか。</p> <p>・平成18年度から平成20年度までは、重点目標として取り組んできた。当時は、各公民館2～3講座、全体で約50～60件実施していた。市民が企画をする際、市民の方を一同に集め、プレゼンを実施していたが、市民にとって審査され、やりづらいといった意見があがり、各公民館主導に切り換えた。手を上げる市民の数が少ないのが現状である。市民企画講座の重要性は認識しているので、市全域として広報し、展開するとともに、実施館の偏り等もあるので館長会議や社会教育主事会議等でも検討していきたい。</p> <p>・アンケートを活用して欲しい。</p> <p>・ボランティア養成講座についてこれからボランティアをしたい方のための養成講座なのか継続してされる方のための講座なのか。これからされたい方のための講座なら、講座をす</p>
(委員)	
(事務局)	
(委員)	
(事務局)	
(委員)	

(事務局)	<p>る前に「ボランティアとは何なのか」といったものを一番最初に企画して欲しい。</p> <p>確かに読み聞かせ等、方法論ありきのところがある。ボランティアとは何なのかといった入口の部分についての講座がないので講座企画者会議等で伝えたい。</p>
(委員)	<p>養成講座を実施するにあたって一番最初が抜けているので是非、実施して欲しい。そうしないと進んでいくうちに壁にぶつかり、ボランティアを止めてしまう。一番最初が肝心である。</p>
(事務局)	<p>議事6(2)「平成25年度 事業計画について」事務局から説明</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関するアンケートの中で託児についての要望が、4箇所ぐらいあるがどのように考えているか。 ・アンケートのとり方は既に受講されている方かと思われるが地域の老人会等に入り込むとどうか。 ・他の指定都市との連携を事業計画上の施策として取り入れてはどうか。
(事務局)	<p>アンケート結果の中で託児や見守りなどの要望も多い。しかし、実情として託児や見守りは全体の講座の中では少ない。児童館にいる児童厚生員に対応をお願いしたり、民生委員や主任児童委員さんとの連携の中で少し実施がなされているのが現状。今年度は、「子育てサロン」や「市民大学講座」などの中で対応する予定はあるが、どの講座においても参加しやすい方向性を考えていきたい。</p> <p>また、アンケートのとり方については今後も幅広く取れるよう検討していきたい。</p> <p>【アンケートのとり方に関する補足】 あらゆる世代の方々を対象に（公民館講座を一度も受講されていない方々をメインターゲットとして）実施</p>

	<p>第1弾 小学校の保護者を対象</p> <p>第2弾 地域で開催される自治会長会や地域公民館長会などの会合の参加者</p> <p>昨年12月のイベント「わくわく生涯学習フェスタ」の来場者</p> <p>*今まで「公民館講座」を利用したことがない方々の結果を分析</p>
(事務局)	<p>指定都市については、年1回会議が開催される。そういった機会を使って活用したい。</p> <p>公民館が市長部局所管である指定都市は、全国で5市。そのような都市とも連携を図りながら公民館運営を図りたい。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・近年合併した富合・城南・植木での自主講座や家庭教育学級の実績が少なかったり、なかったりする。旧町単位の中で違う形で進められているのではないかと推測されるが、実情を知りたい。 ・資料を見て男性や若者の参加が少ないことが見て取れる。他方、青年団の組織が昨年度から休団となったということもある。今後、公民館で青年団等の若年層を取り込んで育成講座など展開されたら良いと思う。
(事務局)	<p>現時点では自主講座等は開設されていない。城南町ではこれまで文化振興の観点から主催講座という形で文化活動の団体が活発な活動を行ってきた。合併特例が切れるまでのあと1年余の中で、これまで城南町で培ってきたものが損なわれないようスムーズな形で自主講座へ移行できたらと思っている。</p>
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・植木町には9つの分館がある。合併前に9つの分館については、合併後、平成26年度末までに公民館からコミセンへ移行するという方針が決まっていた。委員がお話されたように今年度の菱形コミセンを皮切りに順次、計画を進めている現状。しかし、これまで分館で行ってきた公民館としての事業は植木公民館に予算をつけ今後も実施していく予定。

(事務局)	<p>実際、主催講座・自主講座ともに男性の割合が少なくなっている。公民館でも男性限定の講座開設（料理教室など）など工夫しているが、なかなか現状は数字を上げるまでには至っていない。テニスなど運動関係の講座や歴史講座等には男性は参加している。今後、男性が参加できる講座を検討したい。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の予約システムが使いにくい。 （複数画面を確認しないとイケない。） （プリントアウト時の問題） ・家庭教育学級担当者は学校の他の役割分担もあり非常に多忙。これは公民館への要望でなく教育委員会への要望ということで、もう少し家庭教育支援においてもサポートを強化してほしい。 ・男性の講座参加については、私たちが子どもを持つ父親などを集めて講座を開催したことがあるが、夜の講座の方が仕事を持つ父親たちにとっては参加しやすいというご意見をいただいている。
(事務局)	<p>予約システムに関しては、5年をめぐりに見直しを図るという方向性がある。各施設で使用している端末等についての不具合や修正してほしい点はこれまでも職員の意見として聞いていたが、利用者側の意見はなかなか聞く機会も少ない。今後、修正検討する際の意見として参考にさせていただく。</p>
(事務局)	<p>ご意見のとおり、今後とも教育委員会とも連携を図りながら家庭教育支援に携わっていきたいと思う。</p> <p>昨年より教育委員会は学校教育に特化して社会教育の部分においては市長部局へ移管された実情もあるが、家庭教育には十分大事なことという認識はあるので今後とも十分配慮していきたいと思う。</p> <p>また、今年度は熊本県において家庭教育支援条例の施行もあって、小中学校への家庭教育セミナー開催に加え、各事業所等にも出向いて家庭教育支援を深めていく。</p>

(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・政令市になり、区ごとのイベントを企画する、という話があったが、私も長い間、公民館講座に通っているが、特に駐車場がイベント時に不足するという気がする。その辺りの対応はできないか。 ・自主講座講師が 80 歳で勇退するということに関して、講師の入れ替わりという意味で良いことだと感じる。しかし、なかには、講師が勇退された後、講座に参加していた方が講師に繰り上がるという場面もあった。昨日まで一緒に学んでいた方が今日からは先生というところに少し戸惑いもある。講師が勇退される際には講座を閉めて、新たに講師を決めて開設してはいかがか。また、講座も古くなってくると新しい人が優先ですよと言いながらもものが言えない状況が育まれていることもある。
(事務局)	<p>4～5年前から新規登録講師の活用ということで自主講座講師に年齢上限を設けた。(上限 80 歳)</p> <p>もちろん、講師を辞めてくださいという決まりではなく自主講座としては上限を設ける。という話である。だから、その講師で今後も学習したいという講座に関しては一般サークルとして継続可能である。</p> <p>それから、自主講座開設について併せて説明すると、自主講座は前年 12 月ころ、次年度自主講座開設に向けて「開設申請書」というものを提出してもらっている。内容としては、「この先生でこの講座を開設してください。」という、学びたい方からの申請書である。公民館としては学びたい方が 10 名以上いてその講座に先生がいれば自主講座としての要件を満たしているので開設予定ということになる。</p> <p>また、新しい方に優しい講座であってほしいということで公民館職員も自主講座がスタートする 4 月には「新しい方に優しく対応してください。」と開級式でお願いしているところでもある。</p> <p>最後に、駐車場に関しては、現状でご理解いただきたい。</p>
(委員)	<p>図書に関する資料からお尋ねする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城南公民館の図書利用状況は他の館に比べて飛躍的に向上しているが、その理由についてお教え願いたい。 ・東部公民館のデータで休館があったので利用者数や貸出数の減少は理解できるが蔵書数の減少はなぜか。

(事務局)	<p>城南公民館の図書室は現在、公民館内ではなく城南出張所内にある。公民館とは違う場所にあるが合併前から地域に根ざした図書室運営ができており、図書業務の嘱託員も地域の方々と連携が図られておりベテランぞろいである。今後は、公民館のすぐ隣に城南図書館として児童館を併設した施設が年度末に開館予定である。これまで以上に蔵書数も増やし利用者増に繋がりたいと思っている。</p>
(事務局)	<p>東部図書室の蔵書数の減少については、これが直接的な原因かはわからないが、昨年 10～11 月の休館措置を取った際、集中的に蔵書点検その他を行い、古くなった蔵書等については整理したことによるものであると推測する。</p>
(委員)	<p>これまでの意見の中で、託児・見守り保育を充実させるという話題があったのでその点からお話させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼間にお仕事されている方でそれでも職業におけるスキルアップを図りたいという方々に夜間の講座を提供するということは大事なことだと感じる。その際、子どもがいる場合は託児や見守り保育等の措置が大事になってくる。公民館がそういう配慮をしながら講座企画をするという意義は大きいと思う。 ・統計資料を見てみると中学生等の利用が少ないと思う。受験を控えているものの経済的厳しい中高生もいるわけでそういった層を取り込んでいく策として学習ルーム的なサービス提供もあるかなと思う。きちりとした講師をあてるということだけでなく地域に存在する学習ボランティアなどを活用しながら進めていくと、日頃、地域とのつながりが薄かったところも繋がりができ有効なのではないか。
(生涯学習推進課長)	<p>ご要望ということで承っておく。</p>

■ 閉 会